

# Moodleのインストールについて (Linux環境)

園田学園女子大学

情報教育センター

# システム要件

Moodleに必要なもの

1. ウェブサーバソフトウェア
2. HTML埋め込み型サーバサイド・スクリプト言語
3. データベースサーバソフトウェア

具体的には

1. Apache (Apache2)
2. PHP
3. MySQL

を利用

# 講習会で使用している動作環境

turbolinux 10 Server

Moodleバージョン1.5.4 +

- 1.5系列の安定版 (MOODLE\_15\_STABLE)

Apache 2.0

- バージョン1.3でもバージョン2.0でもどちらでも可
- Apache2 (バージョン2.0.51) を使用

PHP

- バージョン4.1.0以上が必須
- 4.3.8を使用

MySQL

- バージョン3.23以上が必須
- 4.0.20を使用

# Moodleのインストール手順

## 1次資料

- 公式サイト

<http://moodle.org/>

<http://docs.moodle.org/ja/Moodleのインストール>

- インストール手順が日本語で説明されている

# ApacheとPHPの設定

- httpd.confファイルの編集
  - /etc/httpd/conf/httpd.conf 等に存在

DirectoryIndex index.php index.html index.htm  
.....

AcceptPathInfo On  
.....

.....を追加

- php.iniファイルの編集
  - /etc/httpd/php.ini 等に存在

magic\_quotes\_gpc = On  
magic\_quotes\_runtime = Off  
file\_uploads = On  
session.auto\_start = Off  
session.bug\_compat\_warn = Off

On/Offが1/0  
の場合もあり

# データベースの準備

- MySQLのルートパスワードの設定（未設定の場合）
- Moodle用の空のデータベース（データベース名：moodle）および特別なデータベース用ユーザ（ユーザ名：moodleuser）とそのユーザパスワード（例：moodleadmin）の作成

```
# mysql -u root -p ?????? ..... はルートパスワード
mysql> create database moodle;
mysql> grant select, insert, update, delete, create, drop, index, alter on
moodle.* to moodleuser@localhost identified by 'moodleadmin';
mysql> quit
#
```

# ダウンロードおよびファイルの展開

- ダウンロードページ (<http://moodle.org/download/>) からmoodle-latest-15.tgzを入手
- ウェブサーバのDocumentRoot上に伸張
  - 例： /var/www/html
  - moodleというディレクトリが作成される
- データ用のディレクトリの作成
  - アップロードされたバイナリ類が入る
    - 例： # mkdir /var/www/html/moodle/moodldata
  - apache/apacheというユーザ/グループのみが書き込めるように変更する
    - 例： # chown -R apache:apache /var/www/html/moodle/moodldata

# インストールスクリプトの実行

- インストールスクリプト (install.php) を実行するために、ウェブブラウザを使って

`http://サーバ名/moodle/install.php`

に直接アクセスする

- 質問に答えていけば設定ファイル config.php が生成される (後から修正も可能)

## 主な事項

- lang : 日本語 (ja\_utf8)
- locale : utf8
- timezone : サーバのシステム時間
- fullnamedisplay : 姓 + 名
- extendedusernamechars : Yes



# 設定の続き

- config.phpが正常に作成された後は、ウェブブラウザを使って

`http://サーバ名/moodle/`

にアクセスし残りの設定を行う

- データベースの設定を開始し、データベースの設定のメッセージが表示される
- トップレベル管理者の作成

# cronの設定

- Moodleが継続的なチェックを行うスクリプトの設定のため、ウェブブラウザを使って  
http://サーバ名/moodle/admin/cron.php  
にアクセスしうまく動作をしていることを確認する
  - 間をあけて何度かページの再読み込みを行う
- cronを使って5分毎にスクリプトを実行するように設定（crontabコマンドを用いて1行追加する）

```
# crontab -e
```

```
*/5 * * * * wget -q -O /dev/null http://サーバ名/moodle/admin/cron.php
```

.....は大文字の“O”